

令和 3 年 12 月 7 日

令和 3 年度 松山歯科衛生士専門学校 学校関係者評価報告書

学校法人松山ビジネスカレッジ 松山歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は「令和 3 年度自己評価」結果を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 令和 3 年度学校関係者評価委員会

- 学外委員 板野 正人 様（一般社団法人松山歯科医師会会長）
 木内 清 様 （愛媛信用金庫 地域事業振興部長）
 井上 奈緒 様（松山歯科衛生士専門学校 卒業生）
 町田 恵 様 （松山歯科衛生士専門学校 在校生 保護者）
- 学内委員 松岡 由紀子（学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事）
 室 利幸 （松山歯科衛生士専門学校 校長）
 岡田 善雄 （学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部長）
 重信 克也 （学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部次長）
 清水 綾 （松山歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科 学科長）

2. 実施内容

- 開会、出席者紹介、校長挨拶
- 自己評価報告 (1) 教育理念・目標
 (2) 学校運営
 (3) 教育活動
 (4) 学修成果
 (5) 学生支援
 (6) 教育環境
 (7) 学生の受入れ募集
 (8) 財務
 (9) 法令等の遵守
 (10) 社会貢献・地域貢献
- 校舎・施設見学
- 質疑応答、意見交換

3. 自己評価報告に関する補足説明

<教育活動>

- ・3 つの 100% の目標について、入学者に対して卒業率 100%、国家試験取得 100%、就職

率 100%を目指して即戦力となる歯科衛生士の人材を育成していく。

<学修成果>

- ・就職率について、愛媛県では歯科医師会のサポート体制が強く、11月16日で就職率100%を達成した。
- ・国家試験の合格率について、昨年度97.4%となった。さらに国家試験対策を強化し合格率100%を目指す。
- ・令和4年4月からカリキュラム変更を行い、メディカルクラークについては、選択科目から必修科目にすることで全員資格取得を目指す。

<学生支援>

- ・学生相談に対する取組みとして、就職関連ではキャリアセンターが個別に学生に対してきめ細かく対応している。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策については、愛媛県の指導のもと感染対策を徹底し、抗原簡易キットによる検査を実施することができる体制を整備した。

4. 学校関係者評価（意見交換、質疑応答）

- ・人材育成目標達成のための教員確保や育成については、どのようにして対応していくのか。

回答：教員を希望する歯科衛生士は、非常に少ない状況であるが、教員の確保は本部と連携して継続的に進めていく。教員の指導力、資質向上については、愛媛県歯科医師会主催の研修会や学会などの研修会に月1回程度参加しており、知識・技能向上に努めている。

- ・カリキュラムで求められる人材育成は実践されていると思うが、就職すると人間力や社会の適合性を求められる場合が多いが、その対応や教育はどのようにしているのか。

回答：対面で患者と関わる仕事で、知識・技術だけでなく総合的なコミュニケーション能力が求められており、特にコロナ禍で外部と触れ合う機会が減少しているため、学内相互実習でコミュニケーション能力向上の訓練を実施している。

令和4年4月からカリキュラム変更に伴い、1年生の6月から臨床実習に参加するようになり、現場の歯科衛生士の言動や、患者さんとのコミュニケーションの取り方をよく見て、自分に不足していることを早期に吸収できるように指導していく。

- ・就職率100%になっているが、学生が希望している地区や病院に就職できているのか。
- ・愛媛県歯科医師会のテレビコマーシャルはとても良く、ぜひ今後も継続してほしい。

回答：愛媛県歯科医師会の修学支援を受けている学生は、支援を受けている地域に卒業後3年間就職するという約束があるが、他の学生は、希望する地域の歯科医院に

就職できている。

- ・就職してくる新人の知識や技術不足を良く感じる。

回答：令和４年４月からカリキュラム変更を行い、全体の科目数を減らし１科目ごとの時間数を増加し丁寧に知識や技術習得を指導していく。